

德山工業高等専門学校教育目標・DP・CP 一覽

教育目標	JABEE基準	DP(本科)	CP:土木建築工学科	1年	2年	3年	4年	5年	専攻科1年	専攻科2年	CP:環境建設工学専攻	DP
世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす人材の育成		本科では、「情報技術」をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、技術的課題を解決できる技術者を育成するため、所定の年限を満し、以下に示す能力・技能に加え、複合分野にわたる知識を有機的に結びつける能力を備え、各学科が規定する単位を修得したものに卒業を認定します。	本科では、ディプロマポリシーにて掲げた能力を育成するために、以下に示す科目群を用意しており、具体的な科目群をまとめた次のようになります。	前期 後期	前期 後期	前期 後期	前期 後期	前期 後期	前期 後期	前期 後期	専攻科では、ディプロマポリシーにて掲げた能力を育成するために、以下に示す科目群を用意しており、具体的な科目群をまとめた次のようになります。	専攻科では、「情報技術」をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、設計・開発を行う実業者もつ技術者を育成するため、所定の年限を満し、以下に示す能力・技能に加え、複合分野にわたる知識を有機的に結びつける能力を備え、各専攻が規定する単位を修得したものに修了を認定します。
(A1) 複合分野の基礎となる基本的素養を身につけること	(C) 数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれらに応用する能力	1. 基本的能力 技術的課題の解決に必要な数学、自然科学、人文・社会科学の知識・能力を修得している	1. 基本的能力 豊かな教養を身につけることを目的として人文・社会科学、芸術などに関する科目を用意しています。また、土木の専門知識や技術の修得に必要な学際的基礎を学ぶことを目的として、数学、自然科学などに関する科目群を教育課程に用意しています。	数学IA 数学IB	数学IIA 数学IIB	数学IIIA 数学IIIB	微分積分I 確率・統計	微分積分II 線形代数 応用数物演習		工学解析 応用統計学 情報論理学 物理科学 一般化学	1. 基本的能力 豊かな教養を身につけることを目的として人文・社会科学などに関する科目を用意しています。また、より高度な工学の専門知識や技術の修得を目的として、数学、自然科学などに関する科目群を教育課程に用意しています。	1. 基本的能力 各専攻の専門分野及び複合分野にわたる高度な知識・能力を修得している。
(A2) 国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと	(F) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力			化学基礎 科学と人間生活 保健	物理I 化学II	物理II		応用解析学概論 応用物理 物理化学 科学史 生物学 自然科学特講		生命科学		
(C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、個性・創造性を磨き養うこと	(d-4) 技術者が経験する実務上の問題点と課題を解決し、適切に対応する基礎的な能力 (d) 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらに応用する能力 (d-1) 基礎工学5科目群	2. 専門的能力 各学科の専門分野及び複合分野にわたる知識・能力を修得している。	2. 専門的能力 土木構造・材料、水理学、地盤工学、測量学などの土木工学および建築構造・材料、建築計画、建築史、建築環境、都市計画などの建築学の科目群、工学実験、測量実習、設計演習、情報処理、CADなどの実技科目群を用意しています。									
(A1) 複合分野の基礎となる基本的素養を身につけること	(F) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力			力学と変形 建設材料	構造力学基礎 建築一般構造	構造力学基礎 建築一般構造	構造力学 建築一般構造	構造力学 建築一般構造	建築材料 建設先端材料	鉄筋コンクリート特講 構造設計論 土質力学	2. 専門的能力 建設プログラミングや応用水理学、建築生産論などの応用・学際的科目群及び環境建設工学専攻総合実験などの実技科目群を用意しています。	2. 専門的能力 各専攻の専門分野及び複合分野にわたる高度な知識・能力を修得している。
(B1) 情報技術をベースに、実体験を通して表現力をつけること	(C) 数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれらに応用する能力 (d-2) いくつかの工学の基礎的な知識・技術を駆使して実験を計画・遂行し、データを正確に解析し、工学的に考察し、かつ説明・説得する能力 (i) チームで仕事をするための能力			測量学I 設計演習基礎I 情報処理	測量学II 測量実習 設計演習基礎II 情報処理	測量実習 設計演習基礎III 情報処理	CAD基礎 水理学基礎 環境工学 土木・建築設計演習I	土木・建築CAD応用 環境工学 土木・建築設計演習I	火災学 建設先端材料	建築プログラミング AI実践 土木・建築設計演習II	経営工学	
(C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること	(d-1) 専門工学の知識と能力			建築計画I 建築計画II 鋼構造造 道路工学I 河海工学I 水理学 建築環境工学 日本建築史 近代建築史	建築計画I 建築計画II 鋼構造造 道路工学I 河海工学I 水理学 建築環境工学 日本建築史 近代建築史	建築計画I 建築計画II 鋼構造造 道路工学I 河海工学I 水理学 建築環境工学 日本建築史 近代建築史	鉄筋コンクリート工学 建築構造設計 鋼構造造 基礎構造造 河海工学II 水工学II 土木施工法 近代建築史	鉄筋コンクリート工学 建築構造設計 鋼構造造 基礎構造造 河海工学II 水工学II 土木施工法 近代建築史	振動と耐震 メンテナンシ工学 基礎構造造 道路工学II 土木施工法 建築法規	耐震工学 耐震基礎構造造 水理科学 応用水理学 都市環境計画学 建築設計計画学		
(B2) 自主性と自立性を養うこと	(g) 自主的、継続的に学習する能力 (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力	3. 汎用的技能 技術的課題を解決する技術者として必要なコミュニケーションスキル、合意形成、情報収集・活用・発信力、課題発見、論理的思考などの技能を身に付けている。	3. 汎用的技能 創造演習・創造製作、卒業研究、学科学年縦横断型の活動などの、汎用的技能を身につけるための実技科目群や活動をj用意しています。	課題発見解決プロジェクト I	課題発見解決プロジェクト II		工学セミナー 土木・建築創造演習	卒業研究 土木・建築創造演習			3. 汎用的技能 コンピュータ総合演習や環境建設工学専攻総合演習、応用研究や特別研究などの、汎用的技能を身につけるための実技科目群や活動をj用意しています。	3. 汎用的技能 設計・開発を行う技術者として必要な高度なコミュニケーションスキル、合意形成、情報収集・活用・発信力、課題発見、論理的思考などの技能を身に付けている。
(C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること	(d-3) 工学の基礎的な知識・技術を統合し、創造性を発揮して課題を探索し、組み立て、解決する能力 (e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力 (g) 自主的、継続的に学習する能力 (i) チームで仕事をするための能力			課題発見解決プロジェクト I	課題発見解決プロジェクト II		土木・建築創造演習	土木・建築創造演習		環境建設工学専攻総合演習		
(C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、個性・創造性を磨き養うこと	(d-4) 技術者が経験する実務上の問題点と課題を解決し、適切に対応する基礎的な能力 (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力 (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力									応用研究	特別研究	
(A2) 国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと	体育			体育	体育	体育	体育					
(B2) 自主性と自立性を養うこと	(g) 自主的、継続的に学習する能力 (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力						工学セミナー	卒業研究				
(C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること	(d-3) 工学の基礎的な知識・技術を統合し、創造性を発揮して課題を探索し、組み立て、解決する能力 (e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力 (g) 自主的、継続的に学習する能力 (i) チームで仕事をするための能力			課題発見解決プロジェクト I	課題発見解決プロジェクト II						環境建設工学専攻総合演習	
(C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、個性・創造性を磨き養うこと	(d-4) 技術者が経験する実務上の問題点と課題を解決し、適切に対応する基礎的な能力 (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力 (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力					測量実習(集中講義)	校外実習1 校外実習2	建設マネジメント 特別講義	インターンシップ	応用研究	特別研究	
(B2) 自主性と自立性を養うこと	(g) 自主的、継続的に学習する能力 (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力						工学セミナー	卒業研究				
(C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること	(d-3) 工学の基礎的な知識・技術を統合し、創造性を発揮して課題を探索し、組み立て、解決する能力 (e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力 (g) 自主的、継続的に学習する能力 (i) チームで仕事をするための能力			課題発見解決プロジェクト I	課題発見解決プロジェクト II						環境建設工学専攻総合演習	
(C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、個性・創造性を磨き養うこと	(d-4) 技術者が経験する実務上の問題点と課題を解決し、適切に対応する基礎的な能力 (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力 (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力											
(A2) 国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと	(a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養 (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力	6. 異文化対応力 技術的課題を解決する技術者としてグローバルな視点で異文化に対応するための教養・感性を修得している。	6. 異文化対応力 技術者としての異文化対応能力を身につけることを目的として、英語、中国語、ドイツ語などの外国語科目や国内研修・海外研修・語学研修プログラムを用意しています。	基礎英語R 基礎英語W	総合英語 I R 総合英語 I W	総合英語 II R 総合英語 II W	総合英語 II W 英会話	総合英語演習 I 英語特別演習	総合英語演習 II 英語特別演習	総合英語 環境建設工学専攻英語講読	6. 異文化対応力 設計・開発を行う技術者としてグローバルな視点で異文化に対応するための高度な教養と磨かれた感性を修得している。	6. 異文化対応力 設計・開発を行う技術者としてグローバル